

## 住宅の気密性能試験結果【P-2】

試験日 2023年4月1日

## &lt; 依頼者様情報 &gt;

御社名	株式会社松浦建設		
所在地	北海道	住所	〒004-0842 札幌市清田区清田2条1丁目1番34号
TEL	011-882-2045	FAX	011-882-2065

## &lt; 事業所情報 &gt;

会社名	有限会社	タギ建築環境コンサルタント			
所在地	北海道	住所	〒006-0024 札幌市手稲区手稲本町四条四丁目2-31		
TEL	011-215-6799	FAX	011-215-6799		
事業所登録番号	1121	測定者	サデギアン・タギ	登録番号	04329-26

## &lt; 測定対象建物の概要 &gt;

建物の名称	●●●●様邸新築工事		
所在地	札幌市北区●●●●●●●●		
竣工年月日	2024/4/1		
構造及び工法	在来木造工法		
建物の規模	地階床面積	0.00	m <sup>2</sup>
	1階床面積	83.52	m <sup>2</sup>
	2階床面積	42.86	m <sup>2</sup>
	3階床面積	0.00	m <sup>2</sup>
	延べ床面積	126.38	m <sup>2</sup> (A)
測定対象外にした部分(空間)の名称			
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積	0.00	m <sup>2</sup> (B)	
吹抜け。床下。小屋裏などの測定対象の相当床面積	C=	21.60	m <sup>2</sup> (C)
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)	S=	147.98	m <sup>2</sup> S= (A)-(B)+(C)
測定対象とした建物の外皮内容積	V1=	385	m <sup>3</sup> (漏気回数を求めるときに記入すること)

## &lt; 測定時の建物条件 &gt;

	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	○	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	停止/テープ貼り	○	
7	台所レンジファン	シャッター閉または目張り	○	
8	換気扇・天井扇	停止/シャッター閉または目張り	○	
9	FF式以外の煙突の穴	ダンパー閉または目張り	○	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	テープ処理または目張り	○	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	○	
13	特記事項	・測定器設置場所: 1階窓(片開き窓)		

## 住宅の気密性能試験結果【P-3】

試験日 2024年4月1日

## コントローラ測定データ

測定方法 JIS A 2201 送風機による住宅等の気密性能試験方法 による。  
流量(通気量)および圧力の測定は、定期的に校正した気密測定器を使用して

測定日	2024年4月1日	データ保存時刻	9時23分	ソフトVer.	4.6.2
自動/手動	手動	圧力センサ	SENSIRION	計測平均時間[s]	10
移動平均時間[s]	5	ゼロ点平均時間[s]	10	試験方法	減圧法
整流筒内径[mm]	94	通気量補正係数	1.075	Dolphin製造番号	20230412a版

測定データ <sup>*1</sup>	測定圧力差	測定通気量	外気温度	室内温度	計測時刻	筒内風速
ファン出力 [%]	$\Delta P_m$ [Pa]	$Q_m$ [m <sup>3</sup> /h]	$t_o$ [°C]	$t_i$ [°C]		$V_d$ [m/s]
30.00	10.1	47.2	7.6	23.6	9:17	1.9
33.00	21.9	80.0	7.3	21.9	9:19	3.2
35.00	32.1	106.4	7.5	21.5	9:19	4.3
36.50	41.6	127.1	7.9	21.2	9:20	5.1
38.50	51.3	150.9	9.2	19.3	9:23	6.0

総相当隙間面積 $\alpha A$ [cm <sup>2</sup> ]	31.5	測定時床面積 $A$ [m <sup>2</sup> ]	147.98
隙間特性値 $n$ [-]	1.41	測定時相当隙間面積 $C$ 値 [cm <sup>2</sup> ]	0.21

※1. 測定データは気密測定器Dolphinによる測定時のデータをUSBメモリに書き出したもの(データ保護者:製造元EOM(株))

## 気密性能試験結果

◎ 適宜網掛け部分に入力・変更してください

測定概要		試験方法	1	{1=減圧法, 2=加圧法}	
測定対象	〇〇〇〇様邸新築工事	所在地	札幌市北区〇〇〇〇〇〇〇〇		
測定時期	工事途中, 完成時, 他	完成時			
天候	晴れ	風向	南	風速 [m/s]	1
気圧[hPa]	1013.25	室温 $t_i$ [°C]	21.5	外気温 $t_o$ [°C]	7.9
床面積 $S$ [m <sup>2</sup> ]	147.98	平均天井高 $H$ [m]	2.60	室容積 $V=S \times H$ [m <sup>3</sup> ]	384.75

データ補正<sup>\*2</sup>

## 差圧-風量グラフ

差圧 $\Delta P$ [Pa]	隙間通気量 $Q$ [m <sup>3</sup> /h]
10.1	45.0
21.9	76.3
32.1	101.5
41.6	121.3
51.3	143.9
0.0	0.0
0.0	0.0
0.0	0.0
0.0	0.0

決定係数 $R^2$ ( $\geq 0.98$ )	温度差補正係数 $K$
0.999	0.954
空気密度 $\rho$ [kg/m <sup>3</sup> ]	係数 $b$
1.257	0.703

隙間特性<sup>\*2</sup>気密性能<sup>\*2</sup>

総相当隙間面積: $\alpha A = Q_{9.8} \times b$ [cm <sup>2</sup> ]	30.7	相当隙間面積: $C$ 値 = $\alpha A / S$ [cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]	0.2
隙間特性値: $n$ ( $1 \leq n \leq 2$ )	1.41	気密性能ラベリング <sup>*3</sup>	☆☆☆+
1Pa時 通気率: $a$ [m <sup>3</sup> /h·Pa <sup>(1/n)</sup> ]	8.6	(参考)50Pa時漏気回数: ACH [回/h]	0.4
9.8Pa時 通気量: $Q_{9.8}$ [m <sup>3</sup> /h]	43.7	(参考)50Pa時通気量: $Q_{50Pa}$ [m <sup>3</sup> /h]	139
測定事業所・登録番号	タギ建築環境コンサルタント 1121	測定者・登録番号	サデギアン・タギ 04329-26

※2. JIS A 2201およびIBEC気密測定技能者講習テキスト「住宅の気密性能試験方法」をもとに、測定データから補正・計算した(データ保護者: EOM(株))

※3. 性能ラベリングは製造元EOM(株)によるもの。(参考:住宅省エネ基準(平成11年)気密住宅 温暖地5以下、寒冷地2以下)

☆☆☆+: C値0.2以下(超高気密+), ☆☆☆+: 0.5以下(超気密+), ☆☆☆: 1.0以下(超高気密), ☆☆: 2以下(高気密), ☆: 5以下(気密住宅)